

株式会社 ニチナン

2017年度環境活動レポート (対象期間:2017年4月~2018年3月)



作成日 : 2017年4月14日

更新日 : 2018年6月11日

□ごあいさつ

株式会社ニチナンは快適な空間演出を創造するディスプレイ業務を提供させていただいています。
環境保全に於いても環境負荷低減を心掛け、地球環境の保全に貢献します。

株式会社 ニチナン
代表取締役 杉本 行隆

環境方針

<環境理念>

ディスプレイを通じ社会に貢献すると共に、環境保護・資源保護の観点からも社会貢献できる企業として、自らに課題を課し、取り組みを継続することで社会に貢献できる企業を目指します。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
2. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます
 - ①電力及び燃料の削減による二酸化炭素排出量の削減
 - ②廃棄物創出量の削減
 - ③環境に配慮した製品の企画・製作を推進します
 - ④環境に配慮した製品・資材の購入を推進します
 - ⑤化学物質の適正管理を行います。
- 3 環境への取り組みを環境活動レポートとして取りまとめ公表します
- 4 この環境方針は、全従業員に周知・徹底します

制定日：2011年4月1日

改定日：

代表取締役社長 杉本 行隆

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 ニチナン
代表取締役社長 杉本 行隆

(2) 所在地

本 社 大阪市大正区北恩加島1-17-7

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 営業部 戸田 健司 TEL : 06-6553-1222
担当者 洞口 満江

(4) 事業内容

展示会/イベント 企画・デザイン・施工
商業施設のイベント 企画・デザイン・施工

(5) 事業の規模

売上高 5.4億円 (2017年度)

	本社
従業員	16名
延べ床面積	1030,538㎡

(6) 事業年度

4月～3月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社 ニチナン

対象外：

なし

活動：

展示会/イベント・商業施設のイベント 企画・デザイン・施工

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2015度	2016度	2017度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	33,319	34,484	33,876
廃棄物排出量	トン			
一般廃棄物量排出	トン	0.265	0	0.212
産業廃棄物排出量	トン	24	29	12
総排水量	m ³	134	141	134

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.294

□環境目標及びその実績

項目	年度	基準値	2017年		2018年
		(基準度)	(目標)	(実績)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	11,749	11,397	9,864	11,338
	基準年比	(2012年)	97%		96.5%
自動車燃料等の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	25,496	24,731	22,525	24,604
	基準年比	(2012年)	97%		96.5%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	37,245	36,128	32,389	35,941
一般廃棄物の削減	kg	259	251	212	250
	基準年比	(2012年)	97%		96.5%
産業廃棄物の削減	t	29.5	28.6	12.1	28.3
	基準年比	(2013年)	97%		96.5%
節水	m ³	111	108	134	107
	基準年比	(2012年)	97%		96.5%
P T R T物質使用量の削減	kg	212	206	210	205
	基準年比	(2012年)	97%		96.5%
グリーン購入 (コピー用紙)	ケース	28 (2014年)	100%	100%	100%
製品への環境配慮 (リボード)	件	6 (2012年)	11	0	検討

*リボードとはスウェーデンで生まれた紙素材を圧縮して造られた強くて、軽いボードです。加工性が高く、販促分野での利便性は非常に高いです。廃棄しても再生素材であること、製作工程においても従来工法に比べてエコロジーな

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○ままできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
電力による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	○		
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	◎	継続	計画は今後も引き続き継続して実施していきます。行動自体はできていますが、数値目標を達成するためには改善が必要です。会社が掲げている時短を強く取り入れる必要を感じ
・パソコンの電源OFF	◎	継続	
・昼休みの消灯	◎	継続	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	○		
・効率的なルートで移動	○	継続	計画は引き続き継続していきます。車輛の整備について、強化することで、さらなる向上を目指します。
・急加速の抑制	○	継続	
・タイヤ空気圧の定期点検	△	継続	
一般廃棄物の削減			
数値目標	○		
・紙使用の抑制・ミスの抑制	○		社内伝票・会議資料などで裏紙を使用中。継続して抑制に努めます
・裏紙などの有効利用	◎		
産業廃棄物の削減			
数値目標	◎		努力はしていますが、社内生産量を向上させているのが結果として現れたと考えます。その中でも改善計画總考える必要があります。
・発生量の抑制	◎		
節水			
数値目標	×		
・水道水をだしすぎない	◎	継続	引き続き節水を心掛けての利用を呼びかけます。
化学物質の削減			
数値目標	×		
・不良在庫の削減	○		化学物質の適正管理をします
グリーン購入			
数値目標	○		
・事務用品グリーン購入比率の向上	○		対象購入品の拡張を検討します
製品への環境配慮			
数値目標	×		
・Re-boardの販売拡販	×	検討	部分的な採用提案件数に変更し

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属くず、廃プラ、廃ガラス、
フロン排出抑制法	業務用空調機、エアドライヤ
消防法	消防設備点検・総合設備点検

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し

数値目標の達成は評価していいかと思います。運用担当者が考えなければならないのは本当に環境保全に貢献できているのかという点ではないかと思います。設備投資による改善は数年前に行いました。会社の姿も年々変化します。それでも正確な評価基準を構築する必要があるのではないかと思います。例えば、一人当たりの消費電力計算にするとか、燃費とか…。要は人員増加すれば必然的に数値が悪くなる部分は出てきます。それでモチベーションが下がるのは困ります。だとすればモチベーションを維持しつつ評価できるシステムの構築により、よりいいものになるのではないかと思います。

□環境活動の紹介



「エコロジー」がキーワードになりつつある中で、「Re-board」を利用し、新しいディスプレイの提案を促進します。

